

令和5年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間・最終)

和庄中学校区 校番15 学校名 呉市立長迫小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
*** 確かな学力	学力の向上 (貫)	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成	・「考える授業づくり」の取組は、100%実施できている。特定の教科に限らず、様々な学年で複数教科の「考える授業」の実践が進められている。 ・教職員で授業を見合って評価し合うことで授業改善につながることができた。 ・ICT(ロイロノート等)を活用した考える授業の実践が進んでいる。意見交流の場面を仕組むことで、児童の意見交流が充実してきている。	・考える授業づくりの取組は、今後も継続し、来年度につなげていく。特に、児童の問いを生かした「考えたくなる課題設定」を行い、ふり返りでは視点を与えることで深い学びを自覚させ、次時の課題につながるようにしていく。 ・自分の考えを整理したり、意見交流等で使用したりするのに、思考ツールは便利なので、教科等で使える場面を吟味し、思考力を深めるようにする。
		自分の命は自分で守る児童の育成	・上半期に比べ、いずれも4ポイント減少はしたものの、目標を大幅に超えて達成している。これは、定期的・継続的な取組(校区の防災マップを活用した避難ルートの確認など)によるところが大きいと考えられる。これを実際の行動につなげる必要がある。	・知っているだけでなく、自分の命を守る行動ができるようにするために、さまざまな場合を想定した避難訓練や保護者・地域と連携した防災に関わる取組を、今後も進めていく。
** 豊かな心	和庄中学校区 スピリットに基づく児童(生徒)の育成 (貫)	粘り強くやり抜く児童の育成	・班によって「時間いっぱい」と「黙々掃除ができた」の項目に丸が付かないようだった。 ・掃除が早く終わった後の動きを指示できない高学年が多いことや自己評価の低い児童もいることが原因だと考える。	・班長や高学年を中心に縦割り班をより有効に使いたい。 ・学期始めにリーダー会を開き意識を高めてから縦割り班を活用していく。
		礼儀正しく感謝の心をもつ児童の育成 (貫)	・約6割の児童ができた。3割の児童がだいたいでできた。 ・学年によって、会釈であいさつとぴたっと止まってあいさつの2つに分けたことが定着しにくかった原因だと考える。	・教室移動や給食室へ行く際は、教員も児童も話さず歩く。 ・静かに行動することの良さを考えさせる。
* 健やかな体	健康促進・体力の向上	体力・運動能力の向上	・65%には達しなかったがソフトボール投げは県平均を上回る学年が多かった。50m走は、どの学年もレベルアップを図りたい。 ・おうちストレッチ実施率は98%であった。毎日している児童を70%にしたい。	・50m走の走力アップに向け、全学年で体育科の授業において50m走を取り入れ、走り慣れすることで個々のレベルアップを図る。 ・おうちストレッチを毎日するよう、帰りの会などで担任を通して指導を行う。
		基本的生活習慣の確立 (貫)	・前回から10%以上低下している。特にメディアコントロールに課題が大きい。家庭の協力が重要だが難しい状態にある。	・今年度は4月から達成数が低下していき、高学年だけではなく、下学年も達成率が低かった。保健指導や保健便りで継続的に発信しているが効果がみられず、教職員や家庭を巻き込んだ取組を提案していく。

業務改善	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	自分にはよいところがあると思っている児童、充実感を得られていると感じる教員ともに目標値を上回っているが、中間の値より数値がやや下がっている。学習発表会などの行事を通じて児童に自信をもたせているが、	卒業・進級に向けて一人一人のよいところをほめ、自信をもたせる。また、日々のスケジュール管理を行い、安心して働きやすい職場づくりを進めていく。
------	--------------------------	----------------	--	--